

みやぎICT教育推進

ICT小学校教育プロジェクト委員会

1 実践内容

- ◎ 情報モラル教育の実践授業
平成21年10月2日(金)大崎市立鬼首小学校
第6学年 総合「ほかの人には教えてはいけないこと」
- ◎ ICT活用公開研究授業
平成21年9月11日(金)栗原市立大岡小学校
第1学年 算数「どちらが長い」
第2学年 生活「名人さんについて知らせよう」
第3学年 社会「スーパーマーケットではたらく人」
- ◎ 情報モラル教育の授業や研修会の実施

2 実践の成果

- ◎ 情報モラル教育について
 - ・ デジタル教材を使うことによって、登場人物の気持ちや行動についてしっかりと考えることができた。
 - ・ 簡易掲示板を実際に使用し、掲示板を疑似体験したことで、利用の経験がなかった児童にもその特性を理解させることができた。
 - ・ 今後、自分だったらどのように行動するかという点まで考えさせることができた。
 - ・ もし不測の事態が起きた時には、親や担任に相談し、対処することを確認することができた。
 - ・ 保護者向け研修会を行うことにより、プロフ等が身近な問題になり得ることや、情報モラル教育の必要性を伝えることができた。

◎ ICT活用について

- ・ 実物投影机, プロジェクター, マグネットスクリーン, 電子黒板といった各ICT機器を, 教科の学習の中で活用するための様々なノウハウを確認することができた。
- ・ 各種ICT機器を取り入れた教室環境の在り方を確認することができた。
- ・ 基礎・基本を習得させるための活用法について, 以下のことを学ぶことができた。
 - ・ フラッシュ型教材活用の効果と今後の発展性
 - ・ 課題を確実に把握させるための, 教科書の拡大提示の工夫
 - ・ 教科書準拠のコンテンツの活用の工夫
 - ・ 映像等のネット上にあるコンテンツの活用の工夫
 - ・ 実物投影机を活用しての発表の仕方
- ・ 「活用する力」を培うための活用法について, 以下のことを学ぶことができた。
 - ・ 思考を支援するコンテンツの活用の工夫
 - ・ 児童の念頭操作を支援するコンテンツの活用の工夫
 - ・ 電子黒板による思考の可視化による効果
 - ・ 電子黒板が「学びの場」となる活用の工夫
- ・ ICTを活用した授業モデル(算数科)は, 大変参考になった。
- ・ 黒板と電子黒板の活用の在り方(デジタルとアナログの活用のバランス)を検討し, 教科のモデルに組み入れていくことが大切である。

3 今後の課題

情報モラル教育については, 主に「みやぎの情報モラル総合サイト」を活用した授業であったが, このコンテンツは道徳等での45分授業を想定している。実態に応じた柔軟な使い方や, 教科の中で活用できる短時間のコンテンツが必要だと思われる。授業にせよ, 保護者向け等の研修会にせよ, それぞれの地域の実情や実態に応じた手立てを講じることが重要である。

ICT活用については, 県内各地で活躍されている先生方の実践を収集・蓄積し, 県内外の先生方が自由に活用できるようなくみを作り, 利用促進を図るとともに, 教師のICT活用指導力を伸ばしていきたい。